

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2009

課題番号：18330059

研究課題名（和文） 市場・組織・社会における倫理喪失と信頼低下に関する経済学的・ゲーム論的研究

研究課題名（英文） An Economic and Game-theoretic Study of the Loss of Ethics and the Decline in Trust in Markets, Organizations, and Society

研究代表者

荒井 一博（ARAI KAZUHIRO）

一橋大学・大学院経済学研究科・教授

40134879

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・経済政策

キーワード：日本経済、信頼低下

1. 研究計画の概要

今日の日本社会が大きく変容しつつあることに多くの人が気づいていると思われる。本研究はそれと密接に関連する問題、すなわち市場・組織・社会全体において倫理が消失し信頼が低下していることに関して多角的な分析を行う。すなわち、一般国民の抱いている倫理感や信頼の水準の現状、倫理喪失や信頼低下の原因、倫理喪失や信頼低下が引き起こしている問題、そうした問題の解決策などを考察する。その一つの方法として、調査会社のサービスを利用したウェブアンケート調査によって、次のような問題に関して一般人の経験や意識に関する情報を収集して分析する。第一は、1990年代半ば以降に頻発している組織内の不祥事の発生するメカニズムや解決法である。第二は、市場における信頼低下の現状や原因と信頼の回復方法である。第三は、中央・地方政府に対する信頼の現状と問題点である。そして第四は、社会一般に対する信頼と教育に対する期待である。もう一つの方法として、学生を被験者としたゲーム実験を行い、信頼・文化・価値観などがゲームの結果にどのような影響を与えるかを分析する。より具体的には、公共財ゲーム、繰り返しゲームなどを独自に変形したゲームを考案して実験し、上記の問題を考察する。さらに、海外の大学でセミナーを行ったり、研究者と討議したりして、本研究者の考えを発表し意見を交換する。倫理や信頼の問題は、海外と比較して考察してはじめて、何がどの程度重要な問題であるかを理解できるようになる。

2. 研究の進捗状況

既に3回のアンケート調査を行った。第一回目は組織における倫理・信頼と不祥事・不正との関係をテーマとし、組織で働く人たちを対象として行った。分析の結果、道徳的リーダーシップや職場における信頼などが不祥事・不正を防止するのに有効であるのに対し、派閥的行動や成果主義がそれらを生み出す傾向があることなどが明らかになった。第二回目のテーマは市場の信頼であるが、準備中にちょうど食品偽装の問題が頻発したので、食品産業で働く人たちを対象にデータ収集を行った。論文では、食品市場における情報の非対称性と信頼財の問題を理論的に論じ、上記データに基づき食品偽装の実態と要因を分析した。そして、食品偽装を防止するには、法制度だけでなく、食品企業の組織文化や制度や経営法の見直しも必要であることなどを論じた。第三回目の調査は中央・地方政府に対する信頼がテーマで、既に多量のデータを収集している。その分析は現在進行中である。

大学生を被験者としたゲーム実験を行い、その結果の一部を論文にした。論文では集団間で公共財の量を競う公共財ゲームの議論を行った。この実験ゲームは独自に考案したものである。そして、各集団内で個人の公共財への貢献を公表したり、他集団を意識させたりすることが、各人の協力を増大させることを明らかにした。また、競争賞金の額が有意な効果を持つ場合も明らかにした。さらに、個人のパーソナリティがゲームの結果に影響することを示し、文化的要因が効率性にとって重要であることを議論した。

そのほかに、現実社会の信頼問題を理論的に考察した論文、成果主義と組織内の信頼との関係を論じた論文、マルチ・エージェント・システム分析を使って組織内の相互依存・信頼と労働市場における失業との関係を解明した論文など刊行した。外国の大学を訪問して研究発表を多数行った。それとともに、現地の研究者と討議・情報交換をした。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。既刊の論文の数と海外大学のセミナーでの研究発表の回数は予定よりも多めである。アンケート調査とその解析はほぼ計画通りに行っている。

4. 今後の研究の推進方策

社会一般に関する信頼と学校教育に対する期待について、一般市民を対象にアンケート調査を行い分析する。論文にしてないゲーム実験のデータがあるので、それを分析して論文にする。信頼などに関して理論的な論文を執筆する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

①荒井一博・山内勇「食品偽装と市場の信頼」『一橋経済学』査読無、第3巻、2008年、1-28ページ。

②Hikojiro Fujiwara and Kazuhiro Arai. “Group Competition and Personality in an Experimental Public Goods Game,” *Hitotsubashi Journal of Economics*, non-refereed, vol.49, 2008, pp.149-161.

③星野崇宏・荒井一博・平野茂実・柳澤秀吉「組織風土と不祥事に関する実証分析」『一橋経済学』査読無、第2巻、2008年、157-177ページ。

④Kazuhiro Arai. “Trust and Trustworthiness in the Economy: How They Function and How They Should Be Promoted,” *Hitotsubashi Journal of Economics*, non-refereed,, vol.48, 2007, pp.225-240.

⑤Kazuhiro Arai. “Trust, Cultural Devices, and Efficiency in Game Experiments,” *Hitotsubashi Journal of Economics*, non-refereed,, vol.47, 2006, pp.249-264.

[学会発表] (計 0 件)

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]
○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]